



## 好きです！ 栗原

新幹線が停まる。ドアが開きホームを歩き始める。「空気が美味しい！」まばゆい東京から2時間。真逆の栗原は真つ暗で音も無いでも、好きです！

栗原に暮らし始めて20年。私も子どもたちも地域の方々に見守られ一人前に成長しました。越して来たばかりの頃「あんだ、どこっしゃ」と聞かれ、祖父の名前を言えばすぐに分かってもらえました。そんな関係が心地良いのです。大合併により大きな栗原市になり不自由な面もありますが、地域の絆は変わる事なくつないでいきたいと思えます。ここで暮らして良かったと思えるように。

それから 栗原と東京を2時間で結んでくれた先人に感謝申し上げます。



再名生 順子さん  
(鶯 沢)

# 私もひとこと



鈴木 徳昭さん  
(金 成)

## 古希を迎えて

廃校になった大岡小学校の東門を入るとすぐ左手に宮沢賢治の「雨ニモマケズ」の歌碑がひっそりと置かれています。卒業生の方が自分の人生の支えになった言葉を後輩にと贈られたものです。

一昔前、学校現場でデラシネ(根無草)という言葉が話題になりました。家庭や地域の教育力が弱っているのではという指摘でした。宮沢賢治も東北での豊かな農作物の収穫には肥料が大切だと、若柳や築館などで炭酸石灰を売り歩きました。その時に作ったのが「雨ニモマケズ」です。

豊かな土壌が美しい花を咲かせるように子どもにも豊かな環境が必要ですが、悲しいかな改善されているとは思えません。私は間もなく古希を迎えますが、ただ見守っているだけではと思つこの頃です。

## あとかき

令和最初の正月も過ぎ、今年日本にとって、世界の祭典「2020年東京オリンピック・パラリンピック」が開催され、祭典に酔いしれることと思います。しかし、祭りのあとに控えるのは、楽観的なムードだけではないと思います。昭和の五輪後は、日本が高度経済成長に邁進するわけですが、令和の五輪後は、低成長の中で、少子高齢化が抱える課題を如何に解決していけるのか、祭りの喧騒の中も見据えて行きたいと思えます。

澤邊 幸浩

### 発行責任者

議長 藤久義

### 広報編集調査特別委員会

- |          |           |         |         |         |          |         |         |         |         |         |         |
|----------|-----------|---------|---------|---------|----------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|
| 委員長 三塚 東 | 副委員長 高橋 将 | 委員 高橋 幸 | 委員 澤邊 浩 | 委員 佐藤 幸 | 委員 五十嵐 勇 | 委員 石川 正 | 委員 石川 運 | 委員 佐藤 悟 | 委員 佐藤 男 | 委員 佐藤 男 | 委員 佐藤 男 |
|----------|-----------|---------|---------|---------|----------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|